

部局名	総務企画部	所属名	秘書課	所属長名	田口 定夫	電 話	483-1151 内線2302
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3011		事務事業名称	秘書総務事業						短縮コード	経常	3011	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市表彰規則								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
市長の秘書及び渉外に関する総括的な事務であり、秘書業務は市制施行当初から行っているほか、表彰については昭和36年から規則化している。また、市長自ら市民や市民団体と対面し、市政に対する意見交換をする場として「市民対話」を実施している。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	07	計画の推進のために							
「市民対話」においては、急速な少子高齢化の進行や高度情報化の進展などを背景に市民ニーズの多様化・細分化が進んでいる。こうした中、地方自治体には、地域主権型社会の実現に向け、市民の主体性や政策形成過程への参加を基本に、自主的・自立的な地域づくりに取り組むことが一層求められている。					大項目（節）	01	市民主体による自立的な行政経営							
					中 項 目	01	第1章市民参画によるまちづくりの推進							
					小 項 目	02	(2)市民参画体制の充実							
					細 項 目	02	②市民ニーズの的確な把握と市政への反映							
実施計画の計画事業														
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	1. 市長、副市長、庁内各課、関係機関(市民) 2. 市政に功労のあった個人・団体・法人(自治・産業・教育・文化・社会事業・衛生・民生・消防・防犯・市政・善行者) 3. 各種団体, グループ							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 1. 渉外事務 (1)翌年度の行事予定を事前に把握する。(2)関係部門と業務内容について検討する。(3)外部機関，関係者(市民)との連絡・調整を行う。 2. 表彰者 (1)各部に候補者の推薦依頼し，表彰規程に基づき庁議で審査する。(2)決定者に表彰式への通知をする。(3)表彰式を挙行(11月23日)する。(4)その他の善行者・寄付者に対しては，随時表彰する。 3. 市民対話 (1)市長対話・講話の日程を調整する。(2)市長対話・講話内容の打合せを行う。(3)対話・講話資料を作成する。							
	※平成24年度に計画していること： 23年度と同様							
意図 （何を狙っているのか）	1. 市長，副市長の公務を効率的且つ効果的に遂行する。 2. 市政に功労のあった者や市民の模範となる者の功績に報いるため表彰を行い，広く周知することにより，市民に市政への貢献意識を高めてもらう。 3. 市民参画による市政運営の一環として，多くの市民の意見を直接聞き，市政へ反映させる。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民及び市政に貢献した個人・団体	件	43	50	63	55	
	指標2	市長対話・講話の団体	件	35	25	17	20	
	指標3							
活動指標	指標1	表彰審査件数	件	43	50	63	55	
	指標2	市長対話・講話申込件数	件	35	25	17	20	
	指標3							
成果指標	指標1	表彰件数	件	43	50	63	55	
	指標2	市長対話・講話実施件数	件	35	25	17	20	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3011	事務事業名称	秘書総務事業				所属名	秘書課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		市長の秘書及び渉外に関する事務事業であるため、現状の維持となる。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
				☐ その他				
				☐ 廃止・休止				
			☐ 事業完了					
			☒ 現状のまま継続					
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			義務的な経費を除き、交際費，旅費等に係る個々の内容を精査し，削減に努めているが，相対的な経費について変化はなく，その成果も一定している。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
「市民対話」や「市長講話」は，市の実情や将来計画等について市長から直接聞くことの出来る有意義な機会だったので，今後も続けてほしい。	

所属長コメント	表彰事務等の諸事務は，現在の水準を維持しつつ内容の充実を図るとともに，市民ニーズの的確な把握に有効な機会となる「市民対話」を今後も積極的に実施していく。また，事業に係る経費については，交際費の削減等に一定の効果が得られており，今後も継続して取り組んでいく。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止・休止	
	☐ 事業完了	
	☒ 現状のまま継続	